国立大学図書館協会
公立大学協会図書館協議会 各加盟館の長殿
私立大学図書館協会

大学図書館と国立情報学研究所との
連携・協力推進会議委員長
筑波大学附属図書館長
阿部 豊

2020 年以降の SCOAP³ フェーズ 3 における参加機関の拠出額の算出方法について(通知)

日頃より、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の活動にご協力を賜わり、誠にありがとうございます。

さて、高エネルギー物理学(HEP)分野の査読付きジャーナル論文のオープンアクセスを推進する国際連携プロジェクト「SCOAP³ (Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics)」は、2019 年 12 月末にフェーズ 2(2017 年～2019 年)が終了します。

この期間におきましては、40 か国以上の国の図書館、主要な資金提供機関、研究センター等が同プロジェクトを支援し、その結果として、高品質の査読付きジャーナルの 25,000 件を超える論文のオープンアクセス出版をサポートしてきました。また、アメリカ物理学会(APS)の 3 つのジャーナルが同プロジェクトに加わり、HEP 分野のジャーナル出版物の 90%をカバーするに至っています。こうしたことから、SCOAP³ 参加各国の代表者で構成される Governing Council において、2020 年～2022 年の 3 年間でフェーズ 3 として、同プロジェクトが継続される運びとなりました。

このプロジェクトの継続には、従来対象ジャーナルの購読料を支払ってきた大学図書館等からの支援が引き続き不可欠です。そこで、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議では「SCOAP³ タスクフォース」を設置して、フェーズ 3 における各参加機関の拠出額の算出方法を確定しましたので、別紙の通りお知らせします。

つきましては、「参考 SCOAP³ プロジェクトに係る現在までの状況について」と併せて、フェーズ 3 における拠出額の算出方法をご確認いただきますようお願いいたします。後日事務局(国立情報学研究所)が、フェーズ 3 への参加意向確認を行いますので、フェーズ 2 にご参加いただいている機関におかれましては、引き続きフェーズ 3 への参加のご準備をいただきたく存じます。残念ながらフェーズ 2 にはご参加いただけなかった機関におかれましてはフェーズ 3 からの参加のご検討をいただきたく、予めお知らせいたします。

なお、本文書にご回答いただく必要はございませんので、念のため申し添えます。

連絡・問合せ先

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
SCOAP³ タスクフォース事務局
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課
電話:03-4212-2340 E-mail:scoap3_office@nii.ac.jp
担当:菅原・久我